

奨学金と型奨学金を受けた若者の実態をどう認識しているのか。

【答】独立行政法人日本学生支援機構の調査によると、奨学金の返還を延滞している理由として低所得や延滞額の増加などが多くあげられており、自分の所得や親の援助では奨学金を返還する余裕がない状況もうかがえる。

【問】平成40年4月以降、市の財源を充てて継続する考えを市長に伺う。

【答】国における給付型の奨学金支給制度や教育施策等の動向を注視しながら、本市における事業存続の必要性について、調査・研究していきたい。

【問】制度の詳細は条例可決後に検討されるものもあるようだが、検討できる範囲は条例の定めた限りのものとなる。他の議会答弁では保育者の育成とあるが、短期大学を対象に含めないと、この方針と矛盾する。他の議員からもさまざまな指摘があったが、寄附者の高い志

を生かしより良い制度の実施には課題もあると認識しているか。

【答】個人名称が入ることによりさらなる広がりがないのではないかと、終期を決めていることにより今後継続できることはないのではという点については、さまざまな考え方がありと考えている。市としては、本条例を基に、貴重な財源を少しでも多くの方に有効に使っていくよう、制度設計に努めていきたいと考えている。

【問】議案第71号の質疑は、9月4日に上程された議案に対するものです。本議案は、9月13日市長からの申し入れにより撤回されました。

【答】なお、9月19日に上程された議案第80号「大学奨学金基金条例を定めることについて」に対する質疑は、9ページをご覧ください。



議案第72号 防災行政無線(同報系)デジタル化整備工事請負契約 【公明党】「政晴会」

【問】工事を3カ年とした経緯について伺いたい。

【答】1年間で施工可能な子局数をメーカーおよび設計業者にヒアリングしたところ、100カ所が目安との意見があり、子局数が295カ所であることを踏まえ、3カ年としたものである。

【問】デジタル化により具体的にどのような行政サービスの向上が図れるのか。

【答】職員による肉声音声から人工音声による放送に変わることから音質等が一定に保たれること、また、子局ごとに放送音量の調節ができるようになることで、防災行政無線の間こえ方についても一定の改善が図られると考えている。さらに、防災行政無線以外の情報発信については情報連携が可能となり、より迅速な情報発信が行えるようになるものと考えている。

【問】デジタル化する理由は、改訂された国の無線設備規則に適合しておらず、平成34年11月までに設備の改修をしなければ使用できなくなるため、国が推奨するデジタル無線設備に更新するものである。

【問】戸別受信機とは何か。
【答】可搬型受信機であり、防災行政無線を聞くことができるほか、施設等が放送設備と連携させることが可能なものである。

【問】市民センター等への戸別受信機の整備についてはどのように考えているのか伺いたい。

【答】本工事では、整備対象を4施設に限定したが、試験運用の側面がある。今回整備対象でない市民センター等への整備についても、整備した施設での運用状況を確認の上、検討したいと考えている。

【問】現園の職員の声は反映されているのか。
【答】職員からの要望を整理するとともに、現施設の課題または改善箇所等について意見聴取を行い、設計への反映に努めた。

議案第73号 仮称あけぼの・ひかり児童園新築工事請負契約 【公明党】「市民フォーラム」【日本共産党】

【問】現園の職員の声は反映されているのか。

【答】防犯面では園庭の外部空間との分離や玄関の集約など、安全に留意した設計を計画している。

【問】保育士等、職員の配置基準にあわせ、現園では十分な配置ができていますか。

【答】現園においては、重度の障害児が通園していることから、安全面への配慮などから、基準を上回る職員を配置している。

【問】新園の防災・防犯・火災などに対応する設備はあるのか。
【答】建物の構造体の耐震基準は通常の1.25倍の強度とし、非常用発電設備の設置を予定、消防法の基準を満たすとともに、



本庁舎の防災行政無線操作卓



本庁舎の防災行政無線室現地視察